

# 年金は先延ばし!?! 消費税は増税!?!



野田政権がねらう

## 「一体改革」の正体がハッキリ

野田内閣がすすめる「税と社会保障の一体改革」——しかし下の表をごらん下さい。実際に打ち出しているのは、社会保障の改悪プランのオンパレード。その一方で消費税の10%引き上げをあらわにしています。結局、「一体改革」というのは、税も社会保障も改悪、するのが、その正体であることがハッキリしました。

年金	支給年齢先延ばし <small>支給額の削減も</small>	支給年齢を68～70歳に 3年程度で2.5%削減し、その後も毎年0.9%削減
医療	患者の負担増	外来のたび定額負担上乗せ 70～74歳の窓口負担2倍に
介護	サービスとりあげ	「重点化」の名でサービス削る
保育	公的責任の放棄	国や自治体の保育実施義務をなくす
消費税	10%への増税 法案提出表明	財務相がG20 <small>財務相・中央 銀行総裁会議</small> で10%引き上 げ法案を来年国会に提出すると表明

くわしくは日本共産党ホームページで <http://www.jcp.or.jp/>

## くらしと社会保障を守る政治を

年金支給年齢の先延ばしに、都民から怒りの声があがっています。社会保障を切り下げれば、くらしはますます大変になり、個人消費は冷え込み、日本経済はますます悪くなる——こんな政治を今こそ転換すべきです。

大企業・大資産家への行き過ぎた減税を止め、米軍「思いやり予算」など軍事費や大型公共事業のムダを改めて、くらしと社会保障を支える政治をつくります。

**日本共産党**

東京  
民報

ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471  
2011年11月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。  
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

「しんぶん赤旗」や「東京民報」を  
ぜひお読みください